

## 市役所からのお知らせ

**納税は「地方税共通納税システム」が便利です**

問 税務課市民税係・管理係

☎内線 114、116

事業主が納める個人住民税（特別徴収分、退職所得分）や法人市民税を、市役所や金融機関の窓口へ出向くことなく、自宅や職場のパソコンから一度の操作で全国の地方公共団体へ電子的に納税することができま

す。詳しくは、eLTAAX

ホームページ（<https://www.eltax.lta.go.jp/>）をご覧ください。

**再生可能エネルギー導入推進計画を策定**

問 地域経済活性化課商工振興係

☎内線 242

国においては、2050年までに、脱炭素社会の実現を目指す「カーボンニュートラル」に向けて、さまざまな取り組みが進

められます。

身近なところでは、EV（電気自動車）やエネルギー収支が実質ゼロのネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）などの普及が進められます。

松浦市の計画においても、再生可能エネルギーの導入を進め、松浦の再生可能エネルギーで出た電気を松浦で使っていくといった電気の地産地消に取り組みながら、地域の活性化を目指します。

今年度は、営農型太陽光発電の実証事業を進めていきます。

詳しくは、市ホームページで公開していますので、ご覧ください。



## 9月21日は世界アルツハイマーデー

問 松浦市地域包括支援センター（長寿介護課内） 内線 178

9月は認知症について考える月間です。推計によると全国に500万人の認知症の人がいます。

自分が認知症になった時、それを受け入れることは簡単ではありません。自分や家族が認知症になっても、家族をはじめ周囲の人々の温かいサポートと、同じ病の人や介護者同士で話ができる機会が得られることで、前向きに暮らしている人もいます。

住み慣れた街で生活を続けていけるように、認知症とともに暮らせる社会を考えましょう。

本市では、認知症の人と家族の集いや認知症を学ぶ講座を行っています。お気軽に長寿介護課へお問い合わせください。

### 折り梅カフェ（認知症の人と家族の集い）

認知症の人やその家族、認知症予防に関心のある人が自由に集うカフェです。交流、相談、認知症に関する情報・知識を学ぶことができます。

#### 【日時】

毎月第1月曜日  
午後1時30分  
～3時30分

#### 【場所】

すこやか青プラザ1階（長寿介護課内）



### 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。

認知症について学び、よき理解者になるために講座を受けてみませんか。市内ではすでに1,900人以上の人が受講されています。

※受講を希望する人は、長寿介護課へご相談ください。



## 市役所からのお知らせ

**危険な空き家住宅の  
除却を支援しています**

問 都市計画課住宅係

☎内線 214、234

**【補助金の額】**

補助対象工事費の2分の1、  
限度額100万円

**【対象となる空き家住宅】**

1年以上使用されていない  
市内にある危険かつ、周  
囲への影響がある住宅など

**【申請期限】** 11月30日(火)

**【採択方法】**

対象となる空き家住宅の  
うち倒壊等危険性の高い建  
物を優先的に予算の範囲内  
で採択します。

**【申請方法】** 問合せ先まで

**民生委員・児童委員  
の異動**

問 福祉事務所福祉総務係

☎内線 189

次のとおり、民生委員・  
児童委員の異動がございま  
したので、お知らせします。

〔福徳・今福団地・人柱(川  
東)・影ノ谷地区〕

〔退任〕 近藤 敦臣(人柱)

〔就任〕 副島 茂(人柱)

## 3世代同居・近居、多子世帯の住宅支援

問 都市計画課住宅係 ☎内線 234

多子世帯や新たに3世代(親、子、孫など)で同居・近居するための中古住宅の取得や住宅の改修を支援します。

**【対象者】**

- ①子育て世帯を含む3世代で新たに同居・近居するために中古住宅を取得またはリフォームを行う者
- ②多子世帯で中古住宅を取得または取得時にリフォームを行う者

**【補助メニュー・補助額】**

対象者	メニュー	補助額
3世代同居・近居	①中古住宅を取得 ②リフォーム工事	補助対象経費の5分の1 限度額 40万円 ※新たに3世代で同居する者の申請の場合は限度額を20万円加算します。
多子世帯	①中古住宅を取得 ②取得時のリフォーム工事	

**【申請期限】** 11月30日(火) **【申請方法】** 都市計画課までご相談ください。

## 宝くじの助成金を活用！

問 政策企画課企画統計係 ☎内線 315

宝くじの社会貢献広報事業として、(一財)自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業を活用して、志佐西部地区住民センターのエアコン、テーブル、椅子が整備され、コミュニティ活動の活性化が図られました。

